

## 令和 4年度 管理事業評価調書( 4年度対象)

事業コード	1015	事業名	観光総務事業			
所属名	観光コンベンション局観光振興課	評価責任者	観光振興課長 水上 俊貴			
		作成責任者	島田 雄太	ダイヤルイン	052-954-6134	
政策名	内外交流の拡大		施策名	観光客の誘致		
事業目的	観光コンベンション局の人件費及び研修旅費等に関する事務を行うことにより、観光振興行政の円滑な運営を図る。					
根拠法令・計画等	職員の給与に関する条例等					
従事人員・経費等	区 分		予算額		決算額(C/F)	
			4年度(当初)	3年度(当初)	3年度	2年度
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	7.60人 ( 0人)	6.60人 ( 0人)	6.60人 ( 0人)	7.60人 ( 0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	0人 ( 0人)	1人 ( 0人)	1人 ( 0人)	0人 ( 0人)
	経費	人件費(a)	74,082 千円	68,669 千円	71,867 千円	81,945 千円
		事業費(b)	7,442 千円	7,048 千円	4,561 千円	5,234 千円
		公債費(c)	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		計(a)+(b)+(c)	81,524 千円	75,717 千円	76,428 千円	87,179 千円
収入のうち、受益者負担額 (分担金・負担金、使用料・手数料)		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
経費のうち、一般財源等		72,507 千円	377,938 千円	76,408 千円	87,160 千円	
事業計画の内容及び事業費の内訳	観光コンベンション局の人件費及び研修旅費等に関する事務を行う。 1 管理事務費:7,939千円					
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式/解説)	目標年度	目標値	実績値・見込	
		1	県民当たりコスト (PL経常費用/本県人口)	最終目標	—	—
				4年度	—	(見込)
				3年度	—	9円 (実績)
		2		最終目標		(見込)
						(実績)
		3		最終目標		(見込)
						(実績)
		4		最終目標		(見込)
						(実績)
	5		最終目標		(見込)	
					(実績)	
	外部要因等	なし				
	目的の達成に関する評価	ー:評価なし (判断の理由) ◎主要な指標:1(理由:管理事業全体を評価するのに最適な指標であるため)				
	コスト指標の増減分析	3年度の県民当たりコストは、人件費の減少等により、2年度12円に比べ3円減少した。				
課題	効率的かつ適正な執行を図りつつ事業を行う必要がある。					
今後の方向性	より効率的で適正な事業の執行に努める。					

\*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。

## 令和 4年度 管理事業評価調書( 4年度対象)

事業コード	1053	事業名	愛知県国際展示場管理運営事業			
所属名	観光コンベンション局国際観光コンベンション課国際展示場室	評価責任者	国際展示場室長 石田 浩久			
		作成責任者	荒川 徹也	ダイヤルイン	052-954-6856	
政策名	内外交流の拡大		施策名	観光客誘客とイベント・コンベンション等の誘致		
事業目的	愛知県国際展示場で開催される展示会、催事等を通じ、新たな交流による新産業の創出や既存産業の充実など、本県産業基盤の強化を図る。					
根拠法令・計画等	愛知県国際展示場条例、愛知県国際展示場管理規則、愛知県国際展示場の使用料の細目料金等に関する告示、あいち観光戦略2021-2023					
従事人員・経費等	区 分		予算額		決算額(C/F)	
			4年度(当初)	3年度(当初)	3年度	2年度
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	9.80人( 0人)	8.80人( 0人)	8.80人( 0人)	10人( 0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	0人( 0人)	0人( 0人)	0人( 0人)	0人( 0人)
	経費	人件費(a)	95,526 千円	87,017 千円	86,155 千円	101,407 千円
		事業費(b)	71,279 千円	119,281 千円	94,198 千円	335,196 千円
		公債費(c)	2,247,520 千円	2,252,984 千円	0 千円	0 千円
		計(a)+(b)+(c)	2,414,325 千円	2,459,282 千円	180,354 千円	436,603 千円
収入のうち、受益者負担額 (分担金・負担金、使用料・手数料)		0 千円	0 千円	2,920 千円	2,920 千円	
経費のうち、一般財源等		2,392,569 千円	45,036 千円	97,283 千円	125,733 千円	
事業計画の内容及び事業費の内訳	<p>国際展示場を管理し、新たな交流による新産業の創出や既存産業の充実など、本県産業基盤の強化を進める事業を行う。</p> <p>1 管理運営事業費:71,279千円(コンセッション事業運営支援業務費 19,884千円)</p>					
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式/解説)	目標年度	目標値	実績値・見込	
		1	運営体制監理(モニタリングの実施)	最終目標	月1回報告	
				4年度	月1回報告	月1回報告 (見込)
				3年度	月1回報告	月1回報告 (実績)
		2	運営体制監理(第三者機関による会議の開催)	最終目標	年1回開催	年1回開催 (見込)
				4年度	年1回開催	年1回開催 (実績)
				3年度	年1回開催	年1回開催 (実績)
		3	県民あたりコスト (PL経常費用/本県人口)	最終目標	-	- (見込)
				4年度	-	- (実績)
				3年度	-	215円 (実績)
	4		最終目標		(見込)	
					(実績)	
	5		最終目標		(見込)	
					(実績)	
	外部要因等	なし				
目的の達成に関する評価	B:目標達成(判断の理由) ◎主要な指標:1(理由:展示場の運営においてガバナンス維持が欠かせないため) ・モニタリング基本計画及びモニタリング実施計画に基づき、目標どおり月1回モニタリングを実施した。 ・モニタリング基本計画に基づき、目標どおり年1回の第三者機関による会議を開催した。					
コスト指標の増減分析	3年度の県民当たりコストは、減価償却費及び補助金等が減少したこと等により、2年度260円に比べ、45円減少した。					
課題	新型コロナウイルス感染症への対応を適切に行いながら、利用促進により収益性を向上させる必要がある。					
今後の方向性	引き続き、適切なガバナンス体制を維持し、コスト削減と利用促進を図りながら運営を行う。					

\*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。

# 令和 4年度 管理事業評価調書( 4年度対象)

事業コード	1140	事業名	観光振興事業			
所属名	観光コンベンション局観光振興課	評価責任者	観光振興課長 水上 俊貴			
		作成責任者	島田 雄太	ダイヤルイン	052-954-6134	
政策名	内外交流の拡大		施策名	観光客の誘致		
事業目的	観光振興によって地域が持つ可能性と潜在力を引き出し、多面的に愛知の成長を加速させ、魅力ある地域社会の実現及び県民生活の向上に寄与					
根拠法令・計画等	観光立国推進基本法、愛知県観光振興基本条例(平成20年10月14日条例第48号)、あいち観光戦略2021-2023					
従事人員・経費等	区 分		予算額		決算額(C/F)	
			4年度(当初)	3年度(当初)	3年度	2年度
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	15.80人 ( 0人)	16.80人 ( 0人)	16.80人 ( 0人)	16.80人 ( 1人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	1人 ( 0人)	0人 ( 0人)	0人 ( 0人)	1人 ( 0人)
	経費	人件費(a)	157,311 千円	166,123 千円	163,259 千円	166,672 千円
		事業費(b)	632,169 千円	922,935 千円	3,916,001 千円	1,361,788 千円
		公債費(c)	36,479 千円	75,925 千円	0 千円	41,546 千円
		計(a)+(b)+(c)	825,959 千円	1,164,983 千円	4,079,260 千円	1,570,005 千円
	収入のうち、受益者負担額 (分担金・負担金、使用料・手数料)		1,482 千円	1,167 千円	921 千円	1,296 千円
	経費のうち、一般財源等		628,099 千円	363,526 千円	584,178 千円	478,347 千円
観光振興の推進のため、あいち観光戦略に基づき、国内観光事業の振興等を行う。 1 あいち観光戦略推進費:19,644千円(あいち観光戦略実態調査費 9,405千円) 2 あいち「ツウ」リズム推進事業費:9,712千円 3 武将観光情報発信事業費:78,996千円(忍者観光創出事業費 60,256千円) 4 ジブリパーク周遊観光促進事業費:142,172千円 5 大河ドラマ活用誘客促進事業費:95,584千円 6 愛知観光プラットフォーム推進事業費負担金:44,508千円						
指標／目標値等	指標 ／ 目標 値 等	指標(指標によっては算式/解説)		目標年度	目標値	実績値・見込
		1	観光入込客数	最終目標	1億2,000万人回	
				4年度	1億人回	(見込)
				3年度	8,000万人回	8,381万人回 (実績)
		2	経済効果(観光消費額)	最終目標	1兆円	
				4年度	8,000億円	(見込)
				3年度	6,000億円	4,502億円 (実績)
		3	県民当たりコスト (PL経常費用/本県人口)	最終目標	—	
				4年度	—	(見込)
				3年度	—	541円 (実績)
		4		最終目標		
						(見込)
						(実績)
		5		最終目標		
						(見込)
				(実績)		
外部要因等	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済効果(観光消費額)が目標値を下回った。					
目的の達成に関する評価	D:進展が大きくない (判断の理由) ◎主要な指標:2(理由:管理事業全体を評価するのに最適な指標であるため) ・観光消費額は、目標数値1兆円(目標年次:令和5年)に対し、平成31年には約8,600億円まで伸ばしてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少することとなったため。					
コスト指標の増減分析	3年度の県民当たりのコストは、新型コロナウイルス感染症対策事業費(観光消費喚起事業費、宿泊事業者感染防止対策事業費など)が増加したこと等により、2年度202円に比べ339円増加した。					
課題	愛知県は多種多様な観光資源を有し交通ネットワークに優れるなどポテンシャルは高いものの、観光地としての認知度は高いといえない。観光客数は、他の大都市圏や観光県として認知度の高い地域と比して劣位である。					
今後の方向性	「あいち観光戦略2021-2023」に基づき、愛知の自然、歴史・文化、産業、食・グルメ、スポーツ等の地域の特色を活かした観光プロジェクトに取り組んでいく。					

\*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。

# 令和 4年度 管理事業評価調書(4年度対象)

事業コード	1150	事業名	国際観光コンベンション推進事業			
所属名	観光コンベンション局 国際観光コンベンション課	評価責任者	国際観光コンベンション課長 多田 花緒里			
		作成責任者	渡邊 茜	ダイヤルイン	052-954-6373	
政策名	内外交流の拡大		施策名	観光客誘客とイベント・コンベンション等の誘致		
事業目的	観光振興によって地域が持つ可能性と潜在力を引き出し、多面的に愛知の成長を加速させ、魅力ある地域社会の実現及び県民生活の向上に寄与					
根拠法令・計画等	観光立国推進基本法、愛知県観光振興基本条例(平成20年10月14日条例第48号)、あいち観光戦略2021-2023、展示会産業振興基金条例(平成31年3月22日条例5号)					
従事人員・経費等	区 分		予算額		決算額(C/F)	
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	17.20人( 0人)	17.20人( 0人)	17.20人( 0人)	15人( 0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	1人( 0人)	1人( 0人)	1人( 0人)	1人( 0人)
	経費	人件費(a)	170,958 千円	173,484 千円	164,266 千円	145,920 千円
		事業費(b)	263,336 千円	304,469 千円	121,727 千円	155,499 千円
		公債費(c)	43,478 千円	43,846 千円	0 千円	44,173 千円
		計(a)+(b)+(c)	477,772 千円	521,799 千円	285,993 千円	345,591 千円
	収入のうち、受益者負担額 (分担金・負担金、使用料・手数料)		173 千円	173 千円	59 千円	134 千円
経費のうち、一般財源等		305,770 千円	101,211 千円	246,823 千円	218,240 千円	
事業計画の内容及び事業費の内訳	外国人観光客の誘客、大規模なイベント・コンベンションの誘致、全国通訳案内士の登録等の事業を行う。 1 国際観光推進事業費:5,482千円(一般社団法人中央日本総合観光機構負担金 3,000千円) 2 アジア観光客誘致促進事業費:12,430千円(アジアFIT向け観光プロモーション事業費 10,000千円) 3 中部国際空港観光案内事業費:2,993千円(中部国際空港観光案内実施協議会負担金 1,811千円) 4 国際会議等誘致推進事業費:11,073千円(愛知・名古屋MICE推進協議会負担金 7,026千円) 5 ハート・オブ・ジャパン誘客促進事業費:47,755千円(情報発信強化事業費 24,461千円) 6 外国人旅行者受入環境整備促進事業費:5,499千円(多言語コールセンター運営事業費 5,499千円) 7 外国人旅行者誘致強化事業費:26,100千円(海外観光レップ事業費 26,100千円) 8 高級ホテル立地促進事業費:1,105千円(高級ホテル立地促進補助金評価委員会開催費 688千円) 9 展示会産業振興基金事業費:150,899千円(官民連携組織運営費負担金 117,475千円)					
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式/解説)	目標年度	目標値	実績値・見込	
		1	外国人観光消費額	最終目標	2,500億円	
				4年度	20億円	20億円 (見込)
				3年度	34億円	— (実績)
		2	外国人来県者数	最終目標	290万人	
				4年度	2万人	2万人 (見込)
				3年度	4万人	— (実績)
		3	国際会議開催件数	最終目標	220件	
				4年度	5件	5件 (見込)
				3年度	28件	11件 (実績)
		4	県民あたりコスト (PL経常費用/本県人口)	最終目標	—	
				4年度	—	— (見込)
				3年度	—	39円 (実績)
		5		最終目標		
						(見込)
				(実績)		
外部要因等	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により必要な統計調査を実施できなかったため、3年度は欠測しており指標となる実績値がないが、3年度も感染症拡大の影響により海外からの入国が制限されていたため、訪日外国人旅行者数は感染症拡大前に比べ大幅に減少していると考えられる。					
目的の達成に関する評価	D:進展が大きくない(判断の理由) ◎主要な指標:1(理由:管理事業全体を評価するのに最適であるため。) ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により必要な統計調査を実施できなかったため、3年度は欠測しており指標となる実績値がない。 ・欠測により指標となる実績値がないものの、感染症拡大の影響を考慮すると、3年度に目標値を達成していたとは考えにくい。ただし外部要因等の影響が大きいため、現行の取組を継続しても目標を達成する見込みがないとは言いきれず、訪日旅行の再開により進展があると考えられ、目標達成には相当な期間を要するためD評価とした。					
コスト指標の増減分析	3年度の県民あたりコストは、人件費の増加等により、2年度36円に比べ3円増加した。					
課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための水際対策による海外からの入国制限のさらなる緩和や解除がされない限り、訪日外国人旅行者数の回復が見込めない状況である。					
今後の方向性	アジア市場を主要なターゲットとするほか、欧米豪市場もターゲットとし、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えた事業を積極的に実施していく。受入環境の整備についても引き続き、取組を進めていく。					

\*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。

# 令和 4年度 管理事業評価調書( 4年度対象)

事業コード	1160	事業名	犬山国際ユースホステル管理運営委託事業			
所属名	観光コンベンション局観光振興課	評価責任者	観光振興課長 水上 俊貴			
		作成責任者	高橋 一真	ダイヤルイン	052-954-6354	
政策名	内外交流の拡大		施策名	犬山国際ユースホステルの管理運営		
事業目的	県内及び県外からの観光客等、施設利用者の利便の一層の向上を図るとともに、施設の適切な管理運営を図る。					
根拠法令・計画等	愛知県観光施設条例(昭和39年3月27日条例21号)、あいち観光戦略2021-2023					
従事人員・経費等	区 分		予算額		決算額(C/F)	
			4年度(当初)	3年度(当初)	3年度	2年度
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	0.60人( 0人)	0.60人( 0人)	0.60人( 0人)	0.60人( 0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	0人( 0人)	0人( 0人)	0人( 0人)	0人( 0人)
	経費	人件費(a)	5,849 千円	5,933 千円	5,704 千円	5,844 千円
		事業費(b)	11,204 千円	11,204 千円	16,827 千円	16,124 千円
		公債費(c)	30,773 千円	30,889 千円	0 千円	31,008 千円
		計(a)+(b)+(c)	47,826 千円	48,026 千円	22,531 千円	52,976 千円
収入のうち、受益者負担額 (分担金・負担金、使用料・手数料)		467 千円	467 千円	468 千円	453 千円	
経費のうち、一般財源等		47,359 千円	10,737 千円	16,359 千円	16,594 千円	
事業計画の内容及び事業費の内訳	<p>国内外からの観光旅行者等のレクリエーションの場として利用されている県営観光施設「犬山国際ユースホステル」について、指定管理者制度を導入し、円滑で効率的な管理運営を行う。</p> <p>○指定管理者:(一財)日本国際ユースホステル協会(公募により選定)</p> <p>○指定期間:平成30年度～令和4年度</p> <p>1 犬山国際ユースホステル管理運営委託事業費:11,204千円</p>					
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式/解説)	目標年度	目標値	実績値・見込	
		1	施設利用率 (宿泊者数/定員総数)	最終目標	37.0%	
				4年度	37.0%	37.0% (見込)
				3年度	36.0%	7.4% (実績)
		2	利用者当たりコスト (PL経常費用/施設利用者数)	最終目標	-	-
				4年度	-	(見込)
				3年度	-	16,368円 (実績)
		3		最終目標		(見込)
						(実績)
		4		最終目標		(見込)
					(実績)	
	5		最終目標		(見込)	
					(実績)	
	外部要因等	新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊者数が大幅に減少し、施設利用率が目標値を下回った。				
	目的の達成に関する評価	<p>D:進展が大きくない(判断の理由)</p> <p>◎主要な指標:1(理由:指定管理選定時の目標値)</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊者数が大幅に減少し、主要な指標である施設利用率は7.4%となっており、指標が目標を大きく下回っているが、外部要因等の影響が大きいため、現行の取組を継続しても目標を達成する見込みがないとは言いが、新型コロナウイルス感染症の収束につれ進展があると考えられ、目標達成には相当な期間を要するためD評価とした。</p>				
コスト指標の増減分析	3年度の利用者当たりコストは、宿泊者数の増加等により、2年度21,818円に比べ5,450円減少した。					
課題	感染症対策を徹底したうえで、引き続き利用率を上げるための取組が必要である。					
今後の方向性	引き続き、指定管理者制度を導入し、コスト削減と利用促進を図りながら、運営を行う。					

\*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。